

# ゲフィチニブ錠250mg「JG」

## 服用される患者さまへ

次の症状があらわれた場合や以前からあった症状に少しでも変化があらわれた場合は、ただちに主治医に連絡し、診察を受けてください。

[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

- ◆ 発熱、咳、痰がでる、息苦しい [急性肺障害\*]
- ◆ 発熱、から咳、息苦しい、息切れ [間質性肺炎\*]
- ◆ 汗をかく、吐き気、激しい腹痛、水のような便、泥状の便 [重度の下痢]
- ◆ からだがだるい、意識がうすれる、考えがまとまらない、のどが渇く、深く大きい呼吸、手指のふるえ、尿量が減る、判断力の低下 [脱水]
- ◆ からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ (水疱)、発熱、食欲不振 [中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ]
- ◆ からだがだるい、食欲不振、発熱、高熱、中央にむくみを伴った赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、陰部の痛み [皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ]
- ◆ 関節の痛み、発熱、発疹やみずぶくれができる [多形紅斑]
- ◆ からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、皮膚が黄色くなる [肝炎]
- ◆ からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる [肝機能障害]
- ◆ 白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる [黄疸]
- ◆ 吐き気、嘔吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ [肝不全]
- ◆ 血尿 [血尿]
- ◆ 発熱、下腹部の圧痛、下腹部の痛み、血尿、残尿感、排尿回数が増える [出血性膀胱炎]
- ◆ 発熱、吐き気、嘔吐、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む [急性膵炎]
- ◆ 吐き気、嘔吐、激しい腹痛 [消化管穿孔]
- ◆ 吐き気、嘔吐、胃の痛み、血が混ざった便、黒色便 [消化管潰瘍]
- ◆ 血を吐く、吐き気、嘔吐、腹痛、血が混ざった便、黒色便 [消化管出血]

\*早く処置を行わないと、死に至る可能性があります

その他にも気になることがございましたら、医師、薬剤師にご相談ください。

(裏面もお読みください)

## 服用中の注意

- ◆ 定期的に胸部X線や必要に応じて胸部CT検査、肺の機能検査等が行われます。
- ◆ 1～2ヵ月に1回あるいは患者さまの状態に応じて、肝機能検査が行われます。
- ◆ 必要に応じて心電図検査が行われます。
- ◆ 自動車の運転等危険を伴う機械を操作する場合には注意してください。
- ◆ 妊娠および授乳をさけてください。
- ◆ セイヨウオトギリソウ（St. Johns Wort、セント・ジョーンズ・ワート）を含有する食品は、この薬に影響しますので控えてください。
- ◆ グレープフルーツジュースによって、この薬の作用が強くあらわれることがあります。
- ◆ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## ～急性肺障害、間質性肺炎～

### 〈かぜのような症状があらわれます〉

この薬の使用を開始してから早い時期にあらわれて、死亡に至る場合が多いため、少なくとも投与開始から4週間は入院する等、医師の十分な管理のもとで使用します。

急性肺障害（発熱、咳、痰がでる、息苦しい）や間質性肺炎（発熱、から咳、息苦しい、息切れ）の症状があらわれた場合には、ただちに中止し主治医の診察を受けてください。

EGFR遺伝子変異が陽性であっても、これらの副作用が同様にあらわれ、死亡する例も報告されています。